



保健福祉情報さいわい

2023年
2月号

発行：幸区役所 〒212-8570 川崎市幸区戸手本町 1-11-1

窓口（電話）取扱時間：平日 8:30～17:00 [土日祝日・年末年始は休庁]
昼休み窓口業務については、各担当者にお問合せください。

●お問合せ：地域ケア推進課 電話 044-556-6730

保健福祉情報さいわいは、年2回発行しています。

特集

＼地域の身近な相談相手！

民生委員児童委員に

新しいメンバーが加わりました



2-3 特集

地域の身近な相談相手 民生委員児童委員

4 認知症特集

認知症サポーターとは？

5 認知症の方を介護されていた方の体験談をお聞きしませんか？

6 気軽にできる社会貢献

輸血用血液の在庫が
非常に厳しい状況です

7 各種ご案内

長引く咳や痰、微熱は結核かもしれません

「多文化フェスタ」でいろいろな国の文化と
触れ合おう!!

みんなで子育てフェア
さいわいスタンプラリーの
フォト賞入選作品が決まりました!

8 地域活動インタビュー

第4回 #想いをつなぐ「だれでもカフェ」

特集

地域の身近な相談相手

民生委員児童委員

民生委員児童委員は、ボランティアとして住民の暮らしをみまもり、安心して暮らすことのできる地域づくりに取り組んでいます。

昨年12月1日に民生委員児童委員の一斉改選があり、幸区の民生委員児童委員にも新たなメンバーが加わりました。

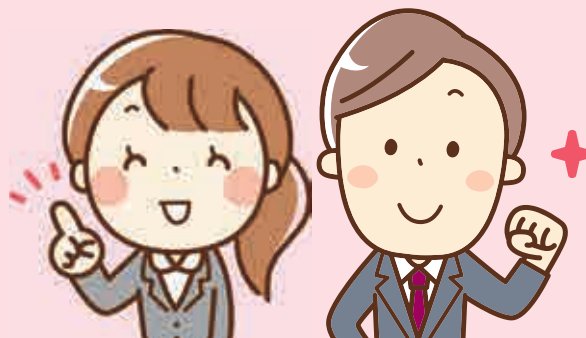
区内では、8つの地区民生委員児童委員協議会に分かれ、それぞれ地域のみなさんの暮らしに寄り添いながら、様々な活動をしています。

民生委員児童委員とは？

民生委員法に基づき、地域の推薦により選出され、無報酬のボランティアとして厚生労働大臣から委嘱された非常勤特別職の公務員です。児童福祉法により児童委員を兼ねていることから、「民生委員児童委員」と呼ばれます。担当区域を受け持つ「地区担当民生委員児童委員」と、児童福祉に関わることを主に担当する「主任児童委員」がいます。



こんなときは、
ひとりで悩まず
民生委員に相談!!



幸区民生委員児童委員協議会 村田清子会長より一言

3年余りのコロナ禍で人と人の繋がりが薄れてきていますが、常に地域住民の困りごとに向き合い、相談活動やインターホン、ドア越しでの見守り活動などに、日々工夫をしながら取り組んでいます。今もウィズコロナですが、地域の中で一人ひとりの暮らしを守り、生きがいの輪を拡げる地域づくりの活動を皆様方の身近で行ってまいります。

地区担当民生委員児童委員

高齢者・障害者・子育て家庭・生活困窮世帯など、生活のことで悩みを抱えている方の身近な相談役です。

相談内容に応じて、区役所や地域包括支援センターなどの関係機関につなぎます。

その他、地域の状況に応じて以下のような取組をしています。

高齢者の見守り活動

日頃のちょっとした悩みがありましたら、お聞きします。



※写真撮影時のみマスクを外しております。

こんにちは赤ちゃん訪問等

同じ目線で相談に乗ります。内容に応じて、関係機関にもつなぎます。



※写真撮影時のみマスクを外しております。

町内会主催のボランティア活動

クリスマス会を開催している地域も！

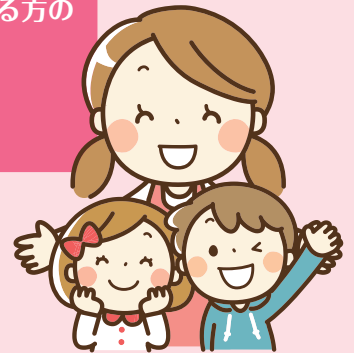


主任児童委員

主に子どもや子育て家庭への支援などを担当する民生委員児童委員です。

地区担当民生委員児童委員と一緒に活動しています。

また、学校や児童相談所などの関係機関との連絡調整を行います。



みんなで子育てフェア

昔ながらの遊びやぬり絵をお子さんたち楽しんでいただきました。



地域の
こんなところで
活動して
います!!



プラザ祭り ~作って遊ぼう~

毎年楽しい工作の場をご用意しています。



認知症特集

認知症サポーターとは？



国では、認知症の人と家族の応援者である「認知症サポーター」を養成する「認知症サポーターキャラバン」という活動を展開し、令和4年12月末現在、全国で約1,430万人、川崎市で約7万7千人が認知症サポーターになっています。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」として自分のできる範囲で活動します。自分自身の問題と認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。認知症の人やその家族の「応援者」がたくさんいれば、認知症になっても住み慣れた街で安心して暮らし続けることができます。

区役所では様々な方を対象に認知症サポーター養成講座を行っています



こども向け

場所：日吉小学校わくわくプラザ



親子向け 場所：幸こども文化センター



市民向け 場所：区役所、日吉出張所

認知症サポーターになるには？

認知症サポーターになるには、「認知症サポーター養成講座」を受講する必要があります。受講はどなたでも可能です。ご希望に応じてスタッフを派遣して開催することも可能です。原則平日開催になります。5名以上の団体またはグループでお申し込みください。会場のご用意もお願いします。受講後は「認知症の方を応援します」という意思を示す「認知症サポーターカード」をお渡ししています。

■ お問い合わせ：地域支援課 地域サポート係 電話 044-556-6693 FAX 044-555-1336

ホット心が温まる時間を一緒に過ごしませんか？

認知症の方を介護されていた方の体験談を聞きながら介護生活のヒントにつなげましょう！



ぜひ
ご参加
ください！



介護には様々な
“カタチ”があります。
それぞれの介護の体験を聞きながら
自分でできる介護の“カタチ”を
探してみませんか？
新たな発見があるかも
しれません！



ご家族で介護をされていた方3名をお招きしてお話を伺います。

★3名の方それぞれのブースを設けていますので、参加者の方皆さんが3名の方全員のお話を聞くことができます。

- 日 時 3月12日(日) 10時から12時(予定)
- 会 場 ミューザ川崎シンフォニーホール 音楽工房内 研修室1～2
- 対 象 者 どなたでもご参加いただけます！
- 定 員 15名 ※事前申込制
- 申込期間 2月28日(火)まで
- 申込方法 専用応募フォーム(右記二次元コードより)、
又はお電話にてお申込みください。



専用応募フォーム



■ お問い合わせ：地域ケア推進課 電話 044-556-6730 FAX 044-556-6659

気軽にできる社会貢献



輸血用血液の在庫が 非常に厳しい状況です



現在、関東甲信越で輸血用血液の在庫数が減少しており、今年度で最も厳しい状況になっています。輸血用の血液は事故・手術のみならず、がんや白血病の治療にも利用されています。長期間の保存が難しく、毎日一定数の方の御協力が必要です。

なんで献血量が減っているの？

現在、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、献血協力者が減少しています。また、冬場は風邪をひくなど体調を崩す方が多く、例年献血の御協力が減少します。

貴方には人の命を助ける力があります ぜひ献血へ御協力をお願いいたします

血液は栄養や酸素の運搬など命を維持するために欠くことのできない機能を多く持っています。現在、血液の機能を完全に代替できる手段はないため、輸血は欠かすことができない治療法となっています。この状況が続くと、病気やけがで輸血を必要とする方への供給に支障を来す恐れがあります。

幸区役所に 献血バスが来ます！

令和5年3月15日(水)

日時 10:00 ~ 11:30
13:00 ~ 16:00



献血していただいた方に
こちらをプレゼント！



献血 web サイト「ラブラッド」の アプリ版がリリース！

ラブラッドとは

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、事前の問診回答などが可能になりました。献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、接触機会の削減ができるので、安心して安全、より手軽に献血協力ができます。

スマホアプリ版が
はじまりました！



当日ご希望時間の3時間前まで400ml献血の予約も可能です

- 献血 Web 会員サービス「ラブラッド」会員の方はコチラから⇒
- 献血が初めての方
専用電話番号へ御連絡ください⇒ ☎ 0120-80-9995 (平日9~17時)



献血の基準

詳細は神奈川県赤十字血液センターHPを御確認ください

- ①年齢 16歳～69歳
※65歳～69歳の方は60歳～64歳の間に献血した方に限る
- ②体重 男性：45kg～ 女性：40kg～
- ③血圧 最低血圧：50～110mmHg
最高血圧：90～180mmHg
- ④体温 37.5℃未満の方

※男性17歳以上、女性18歳以上で体重が50kg以上ある方は400ml献血での御協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策として、献血を御遠慮いただく基準

- ①感染した方：
症状消失後（無症状は陽性となった検査の検体採取日から）4週間以内の方
- ②感染が疑われる方：
症状出現日から2週間以内及び症状消失から3日以内の方
- ③濃厚接触者：
最終接触日から2週間以内の方
- ④ワクチン接種された方：
ノババックスは接種から24時間以内、ファイザー・モデルナは48時間以内、J&J・アストラゼネカは6週間以内の方

各種ご案内



長引く咳や痰、微熱は

結核

かも
しれません



咳や痰、微熱などの症状が2週間以上続いたら、結核の疑いがあります。気になる症状が続いたら、早めに医療機関を受診しましょう。定期健診などで定期的に胸部レントゲン検査を受けることも重要です。結核に関することは、衛生課にご相談ください。

■ お問い合わせ：衛生課 電話 044-556-6682 FAX 044-556-6659

多文化フェスタで いろいろな国の文化と触れ合おう!!

入場
無料
申込
不要

いろいろな国の人たちが、自国の文化を紹介しながら交流するお祭り「多文化フェスタ」を開催します。演奏やダンス、いろいろな国の料理やカフェ、お子さんが参加できるコーナーもありますので、ぜひご参加ください。

■ 日時 2月18日(土) 10時から15時

■ 会場 幸市民館

■ 対象 関心のある方ならどなたでも!

■ 主催 幸区多文化共生推進事業実行委員会、川崎市(幸区役所)

内容

いろいろな国の
食べ物の販売
ダンスや歌などの発表
民族衣装着用体験
お茶

書道体験
昔のおもちゃと
遊びのコーナー他



※内容は変更になる場合があります。

■ お問い合わせ：幸市民館 電話 044-541-3910 FAX 044-555-8224

外に飛び出そう!
みんなで
子育てフェアさいわい

スタンプラリーの
フォト賞入選作品が
決まりました!



全ての
入選作品は、
区のHPにて
公開中!

昨年秋に開催された「外に飛び出そう! みんなで子育てフェアさいわい」スタンプラリーでは、大好評につき1,000名以上の親子にご参加いただきました。

イベント期間中にご応募いただいた写真の中から、フォト賞入選作品が決定いたしました!



■ お問い合わせ：地域ケア推進課 電話 044-556-6730 FAX 044-556-6659

地域活動インタビュー

第4回 #想いをつなぐ

地域活動をされている方へのインタビューコーナー「#想いをつなぐ」。今回は「だれでもカフェ」の皆さんにお話をお伺いします。



そがべ 曾我辺さん うめはら 梅原さん おだ 織田さん やなた 梁田さん あかつか 赤塚さん

だれでもカフェとは？

地域の「たまり場」、そして皆さまの「居場所」作りの実現と、地域に根差した活動を目的として、主にさいわい健康福祉プラザ1階ホールにて月1回（毎月第1金曜日のお昼）活動しています。美味しいコーヒーとともに、お話ししたり音楽や落語を聞いたり、折り紙・フラダンスと楽しいひとときを過ごすことができます。（※賛助金として100円をカフェにて頂いています。）



◆「立ち上げのきっかけを教えてください。」

ももとは「だれでもカフェ in 幸」として区役所の委託事業として始まり、2021年の10月に独立し「だれでもカフェ」として活動しています。ボランティア講習会を受講した方がメンバーとして活動しています。「シニアの方の居場所としてコミュニティカフェを作りたい」「周りのお友達に誘われた」「地域に貢献したい」「家族の転勤で引っ越してきた地域を知りたい」など、受講に至った想いはメンバーそれぞれです。

◆コロナ禍でどのような変化がありましたか？

コロナ禍でコーヒーを提供するのは一時期やめていました。2022年くらいからまたコーヒーの提供を再開しているのですが、やっぱりコーヒーがあると活動の雰囲気も良いですね。また、周りの方の応援もあったからこそ、今まで続けることができました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。



◆活動のエネルギー源はなんですか？

気心知れた仲間との活動が楽しいからやっていけますね。それと、来られるお客様が喜んでくださることで。帰り際に「また来るね～」と声をかけてくださるときは、やはり嬉しいです。またある時、町内会の役員の方が「うちの町内会にもこのような居場所を作りたい」と見学にいらっやっして。熱心にメモをして帰られたのですが、その翌月にはその町内会でコミュニティカフェを開催してらっやいました。想いはこのようにつなげていくのだなと感じましたし、その時はやっていてよかったなと感じました。

◆活動の中でどのような「気づき」がありましたか？

シニア世代の方には、**お金もかからないでぶらっと寄れる場所**が求められているのだと感じます。誰かと繋がれる場所を求めているけれど、そのような場所がない、という声もありますね。私たちはお客様と年代が一緒なので、「腰が痛いわ～」「そうよね～。気圧のせいじゃない（笑）？」なんてお話で盛り上がることもあります。

◆課題と感じることはありますか？

引き継いでいく作業が大変だと感じています。でも梁ちゃん（梁田さん）が人をつなげる作業を丁寧に行ってくくださるから今まで続けることができました。

◆梁田さんがまとめ役を担っていたのですね。

私が代表となっていますが、私がこのチームを作ったのではなく、活動場所から何を決めるにも常にみんなで動いてきました。だから今活動を一緒にしている誰が欠けても、続けることはできなかったと思います。メンバーの**固い絆**ですね。

幸区がどんな街になってほしいですか？

人と人がつながることで、シニアにやさしい街になってほしいなと感じます。



1月開催時の様子

着物で
お正月らしく

